

＜体育大会・文化祭に向けて＞

今月は、体育大会と文化祭があります。こうした行事と、今年度の努力点「**できる自分・なりたい自分になる！**」はどうつながるでしょう。

まずは、体育大会や文化祭での「**なりたい自分**」をイメージしてみましょう。

体育大会なら「全力で走る自分」「仲間を励ます自分」、文化祭なら「堂々と歌う自分」「最後まで指揮をやりきる自分」というように、一人一人に「**なりたい自分**」があると思います。こうした「**なりたい自分**」をイメージできると、その実現のため、どんな力を伸ばしていくかも浮かんでくるでしょう。

力を伸ばすには具体的な行動が必要です。練習に真剣に参加すること。まだできないことでも逃げずに挑戦すること。そうした一つ一つの積み重ねで、「**できる自分**」が育っていくでしょう。

このように、「**できる自分・なりたい自分になる！**」は行事でも大切にしたいことです。同時に、体育大会や文化祭のような行事では**仲間の「できる自分・なりたい自分」**について考えることも大切です。

体育大会や文化祭ではよく、「優勝したい」「最優秀賞を取りたい」という目標をもつ人がいます。学校全体の大きな行事ですから、学級みんなで頑張りたい、その成果を出したいという思いから、こうした目標を目指すのも大切だと思います。

そのときに考えてほしいのが、**仲間の「できる自分・なりたい自分」**です。

運動であれ合唱であれ、得意な人もいれば苦手な人もいます。得意を生かそうと張り切る人もいれば、苦手なことに挑戦しようとする人もいるでしょう。そうした様々な人が力を合わせ、一つの目標を目指すのが体育大会や文化祭です。

例えば、文化祭で行われる合唱は一人では完成しません。指揮者や伴奏者、各パートの歌い手といった学級の一人一人がいて、初めて合唱は成り立ちます。そしてその合唱は、学級の全員が「**できる自分・なりたい自分**」を目指して練習を重ね、力を伸ばすことで、さらに素晴らしいものになるでしょう。

しかし、全員が練習に励むというのは簡単なことではありません。一人一人が抱えている課題は異なりますし、練習の中で苦勞していることもそれぞれでしょう。だからこそ、誰もが安心して練習に取り組める環境づくりが大切になります。具体的には「限られた時間を有効に使う」「仲間の話をしっかり聞く」「互いの挑戦や成長を認め合う」といった雰囲気があると、安心して練習に励むことができるはずです。



こうした雰囲気づくりに、あなたができることは何でしょう。

真剣に練習に取り組むことかもしれません。困っている仲間に声を掛けることかもしれません。仲間の頑張りを認め、応援することかもしれません。そうした行動は、仲間の努力が実る環境づくりにつながります。そして自分自身の「**できる自分・なりたい自分**」の実現にもつながっていくのです。

体育大会や文化祭は、順位や賞を競うだけの行事ではありません。自分の目標に向けて努力すること、そして仲間の目標や努力を支えることの大切さを学ぶ機会でもあります。皆さんが行事を通して、自分自身の「**できる自分・なりたい自分**」に近付くとともに、仲間の「**できる自分・なりたい自分**」を支えられる存在となることを期待しています。